

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390900054
事業所名	グループホームたのしい家金山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、回覧板は来ないが、地域行事は案内や運営推進会議の場で得ている。コミュニティセンターでの踊りや合唱等の行事に参加したり、日常的な散歩で地域住民と挨拶を交わしている。民謡や三味線のボランティアや民生委員がお抹茶を点てて来所したり、専門学校生や実習生の受け入れも実施している。また、AEDの講習会をホームで行った際には地域の方々の参加もあり、相互に交流が図られている。地域の方よりホームが「よろづ介護相談所」として機能してほしいとの話しも出され、今後の検討課題となっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	町内会長、民生委員、保健委員、いきいき支援センター職員、ホームからは管理者や介護支援専門員が参加して2か月ごとに開催している。家族の参加も徐々に増えている。毎回ホームの利用や問い合わせ状況、活動報告、今後の予定や本部よりの報告もされている。町内からは地域の様子や地域連携の話が出され、多方面にわたって活発な話し合いが実施されている。出された意見に対しては直ぐに検討、改善を行い、サービス向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	1か月に数回は担当者を訪問、ホームの現状を説明し、協力が得られるよう連携を深めている。区や行政主催の講習会や研修の案内が届き、職員のスキルアップや知識向上に向け積極的に参加するようにしており、ホーム内で参考資料を配布しながら伝達講習を開催している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族の面会時には、ホームでの暮らしぶりを説明しながら、意見や要望を聞いている。毎月、お一人おひとりに内科面、歯科面、日常生活面での近況を写真を同封して発送している。ホーム便り「あっ!とホーム通信」も発行している。家族から「リビングでいつも座る場所がキッチンに背を向けた固定の位置なので、職員からは顔の表情が見えていない。」との意見が出され、自由席とする等、直ぐに検討して運営に反映している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かした取り組み	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
	(例示)
4. 市町村との連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。